

令和 5年度予算見積調書

課室名：薬務課
 担当名：総務・温泉・薬事相談担当
 内線：3624 (単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
S219	くすり安心安全推進事業費	一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	医薬分業支援事業費		
事業期間	平成 2年度～	根拠法令	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律		針路分野施策	03 介護・医療体制の充実 0305 医薬品などの適正使用の推進	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-8	
1 事業概要	<p>医薬品の適正な使用のために必要な情報を提供することにより、県民が安心して安全に医薬品を使用できるような体制を整備する。</p> <p>(1) 処方箋受入体制整備促進費補助事業 469千円 (2) 医薬品等学術情報の収集 109千円 (3) 医薬品等に関する相談事業費 201千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 処方箋受入体制整備促進費補助事業(通年) 469千円 薬事情報提供体制を整備し、医薬品の適正使用を促進</p> <p>イ 医薬品等学術情報の収集 109千円 日本薬剤師会学術大会等で最新の薬事情報を収集し、薬事行政の環境変化に対応</p> <p>ウ 医薬品等に関する相談事業費 201千円 薬事相談員(薬剤師、会計年度任用職員2名)が、薬務課内で県民からの医薬品等に関する電話相談に応答(通年) 専門書等から医薬品の有効性・安全性等に関する情報を収集、研修会等への参加 2回/年</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 処方箋受入体制整備促進費補助事業： 薬局や県民等への医薬品に関する情報提供や指導を行う県薬剤師会薬事情報センター運営費の一部を助成</p> <p>イ 医薬品等学術情報の収集：第56回日本薬剤師会学術大会への参加(和歌山県和歌山市)</p> <p>ウ 医薬品の情報収集による正確な応答</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>医薬品等の適正使用により治療効果の向上、健康被害の発生防止</p> <p>情報提供・相談実績 令和元年度：薬局等 1,624件、県民 101件 令和 2年度：薬局等 2,068件、県民 71件 令和 3年度：薬局等 1,984件、県民 89件</p> <p>薬事相談件数 令和元年度：2,059件、令和2年度：1,454件、令和3年度：1,688件</p> <p>(4) その他</p> <p>診療報酬の改定やかかりつけ薬局、健康サポート薬局など薬機法等の制度改正に基づき、薬局からの相談件数が増加している。薬局の相談窓口は他にないため、補助事業については、かかりつけ薬局の進捗状況を確認しながら終期を検討する必要がある。 また、かかりつけ薬局機能の現状と課題等を把握して事業を実施する必要があるため、学術情報の収集は必要。</p>					
2 事業主体及び負担区分	(1)、(2) 県及び一般社団法人埼玉県薬剤師会 (3) 県 (県10/10)							
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.2人=1,900千円							
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	779						779	27
前年額	752						752	

事業内訳書

事業名	くすり安心安全推進事業費		
単位事業名	処方箋受入体制整備促進費補助事業	予算額	469千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	469	0	薬事情報センター運営費補助 468,709円
合計	469	0	

単位事業名	医薬品等学術情報の収集	予算額	109千円
-------	-------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	67	27	第56回日本薬剤師会学術大会への参加（和歌山県） 66,320円
負担金、補助及び交付金	42	0	県薬剤師会への入会金及び会費 32,000円 日本薬剤師会学術大会参加負担金 10,000円
合計	109	27	

単位事業名	医薬品等に関する相談事業費	予算額	201千円
-------	---------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	5	0	研修会参加旅費 2,200円 講習会出張旅費 2,000円
需用費	196	0	書籍・雑誌購入費 146,000円 経常費 50,000円
合計	201	0	